ROTARY CLUB OF FUJIMI
富士見ロータリークラブ週報

NO1580
2014－9－5発行

第1922回　例会26年　8月29日（金）
【セミナー報告：羽石　隆会員】

2014～2015年度
国際ロータリー会長　ゲイリーC. K. ホアン
第2570地区　ガバナー坂本元彦

【会　長】　栗原　平
【副会長】　下山定夫
【幹　事】　柳田政男
【ＳＡＡ】　山口　勇

【点　鐘】　会長　栗原　平会員
【斉　唱】　ロータリーソング「我等の生業」

【会長の時間】　会長　栗原　平会員

１．青少年交換留学生　８月２０日来日
　　フランス人　マルタン・ユズさん
　　ホームスティ萩原会員宅へ
　　ウエルカムパーティを予定
２．秋元会員へ感謝状の贈呈
　　当例会場演壇の改装
３．ガバナー公式訪問同行者の感想、写真供覧
　　新座ロータリークラブの感想
３．バナー交換について
　　自信を持ってバナー交換を！
　　バナーに同行者のサインを！
　　同行記録を残しましょう！
４．外部による卓話について
　　予定　９月２６日（金）
　　元東京大学法医学教授　石山昱夫先生
　　法医学、法医鑑定について

【幹事報告】幹事　柳田政男会員

１）例会変更の件
１．新座ＲＣ
　８月１８日（木）→同日
　夜間例会　点鐘１９時
　　「会員親睦会」
　　パーシモンホテル
２．和光ＲＣ
　９月１５日（月）⇒祝日のため例会取消し
　９月２２日（月）⇒９月２１日（日）
　　日帰り親睦旅行へ振替
３．朝霞キャロットＲＣ
　９月２２日（月）→９月１５日（月）（祝日）
　　振替　点鐘１０時
　　黒目川まるごと再生プロジェクトに参加
３．志木柳瀬川ＲＣ
　９月１１日（木）⇒移動例会（詳細未定）
２）次の書類を回覧します。
　１．飯能ＲＣのバナー
　２．ハイライトよねやま１７３
　３．米山梅吉記念館館報
　４．ＲＩ日本事務局財団室ＮＥＷＳ　８月号
　５．学友会ニュース１８５号
　　五郎さん（富士見ＲＣ推薦）
　６．第２８４０地区地区大会お礼状
（出席者：阿部、野﨑、秋元会員宛）
　７．２０１３～１４年度6月末１～３ゾーン
　　会員数調報告書
　８．第２Ｇ第２回会長幹事会
　　議事録・意見交換・収支報告
　　日時　８月６日（水）志木まるい８Ｆ
　　１８：００～２０：３０
　　次回　第３回会長幹事会のお知らせ
　　日時　９月３日（水）志木まるい８Ｆ
　　１８：００～
　９．朝霞、志木、和光ＲＣ会報
１０．その他→
　　埼玉県産業労働部ウーマンノミクス課から
　　「企業アプローチ事業について」
１１．ガバナー支援金のお願い
１２．会費納入のお願い
１３．駐車場の件
　　（加治駐車場使用は２７年７月迄不可）
３）例会終了後、臨時理事会開催

【贈呈】会長　栗原　平会員

○秋元伸一郎会員にはスピーチ台を作り直して頂きました。感謝状を贈呈致します。
有難うございました。

○Ｒ財団（ＰＨＦ）にご寄付を頂きました会員にメダルが届いております。

下山副会長から
栗原会長へ

野﨑会員へ

　大坪、酒本会員は欠席ですので後日、お渡しいたします。
○Ｒ財団委員会→委員長　野﨑秀一会員
　今、会長からＰＨＦのメダルを贈呈して頂きました。今年度、６名の方から財団にご寄付を頂き松本会員さん１３回、阿部会員さん１１回です。後日、クリスタルの盾が届きます。栗原会長、大坪会員、酒本会員、私、野﨑の４名にバッチが届きました。ご協力、有難うございました。
○スポーツ担当→長根章浩会員

　９月１２日（金）高坂ＣＣで開催されます、第２Ｇゴルフ大会は５６名になり、当クラブから１９名の参加を頂き有難うございました。

○Ｒ情報委員会→

　委員長　山城　盛会員
開催日：８月２３（土）
場　所：女性教育会館
アドバイザー　浅田　進
（ 本庄南 ）
委員長　　細田保雄　（ 行田さくら ）
第1G委員　　野口　健吉（ 東松山むさし ）
第2G委員　　大野栄治　（ 志木 ）
第3G委員　　磯田力彦　（ 新所沢 ）
第４G委員　　茂木　正　（ 本庄 ）
第5G委員　　古谷一生　（ 熊谷西 ）

The Rotary Leadership Institute (RLI)
第１節　ＲＬＩの背景
　ロータリーは創始後、１００年以上が経ったわけです。近年、社会構造も変化しており、特に事業や職業の世界が激変しています。社会や文化に対する相互の認識や価値観が違って来ておりますロータリー活動のあらゆる面で複雑で矛盾した現象を呈しているように思われます。この様な、異なった価値観や社会意識を埋める為には私達はその要因である根本的な問題点を分析し、充分に話合い、ロータリアン同士、理解を進めない限り、今後のロータリーの発展は望めないように思われます。昨今、日本のロータリーの会員数の減少傾向が止まりません。ロータリーに関して、充分な知識を持たないロータリアンが増えお互いに、話合いも出来ず、ロータリーを充分に理解しないまま、ロータリーを去って行く人達が多い事は非常に残念な事です。そこで、私達は本当にロータリーを理解し、ロータリアンとして活動する為にはクラブの底辺から一人一人のロータリアンが自発的に自覚を持った話合いをして、本当の ロータリーを理解する事が基本的な課題だと考えます。ＲＩの新長期計画の実践目標でも、ロータリー活性化の目標として、クラブの柔軟性と刷新性が強調されています。
第２節ＲＬＩの目的と意義
　ＲＬＩは１９９２年に始まりました。ＲＬＩはロータリーの組織や活動に関して、正しく、深い知識を持ち、高い指導能力のあるロータリアンを支援するた為」活動しております。日本のロータリー米山記念奨学会と同じ様にＲＩが承認した多地区合同プログラムです。２０１０年度にはＲＬＩはその理念を変更し、「 ロータリー・リーダーシップ研究会（ＲＬＩ）は質の高いリーダーシッ質の高いーシップ研究会（ＲＬＩ）はプの研修を通じて、クラブの活性化を願った、草の根の多地区合同プログラムである」としました．私達がロータリアンとして成長し充実した活動をする為には

ロータリアン一人ひとりがロータリーを本当に理解し自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にしクラブの活性化に繋げて行く必要があり、ＲＬＩの目的はロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養しクラブの刷新性と柔軟性を育てロータリーを活性する事です。

第３節ＲＬＩの歴史

ＲＬＩは１９９２年アメリカ・ニュージアージー州(ＲＩ・第７５１０地区)において元ＲＩ理事のデビット・リンネット氏の発案で始められた研修組織です。１９９４年にはニュージアージー州でさらに３つの地区が参加しました。その後、１９９８年には３１，３２ゾーン(アメリカ北東部中部太平洋岸、ナダの一部)まで広がり始めました２００４年の規定審議会では、決議案０４-２３８にてＲＬＩをＲＩのパイロット・プログラムとして採用する様に、決議されました。ＲＬＩの活動は自然発生的に伸展し、現在、全世界の１１０カ国、約３００近い地区に草の根・ロータリー研修組織として発展しています。

第４節ＲＬＩの研修方法

ＲＬＩの研修方法やカリキュラム内容については、ＲＬＩの原則や指導方法に従いますが、世界の各地域や国の文化や習慣の違いは尊重し夫々の違いに応じた方法や内容を加えてよいことになっています

研修セミナーの参加者はクラブ会長はクラブ内の将来の指導者として成長する可能性を持った優れた素質を持ったロータリアンや希望者の中からモチベーションやリーダーシップの可能性のある者を個別に選んで、ＲＬＩの研修に参加させます

また、研修方法は講演や抗議では無く、斬新な討論方法を活用して参加者による、草の根(grass roots)のディスカッション方式で行われます。

そして、カリキュラムは時代の変化に対応する新しい情報を取り入れながら、カリキュラムは毎年変更されます。プログラムは３コースありますどのコースも項目内容は違いますが参加者には全部のコースに出席することが奨励されています。

また、ＲＬＩの研修は将来、ロータリー活動の指導力を発揮できる人に焦点を当てるもので特定のロータリーの役職にある人に焦点を合わせるものではありません。

第５節ＲＬＩの研修特色

ディスカッション・リーダーは進行役で質問を投げかけながら、各自の自発的な考え方や意見引くき出していきます。参加者は解答の結論を求めるのではなく課題に対する参加者の発言から自分自身の解答や方向性を見出す研修方法になっています。研修の基本コースはパート１、パート２、パート３の３日間と卒業セミナー(任意)日となっています。現在、行われている方法では参加者は１０名程度の少人数のグループに分けられ、毎回６つの分科会のすべてをまわって研修する方式で行われます。それぞれのグループは各パート毎に別のグループとなって研修に参加する、つまり常に違ったメンバーと研修するという事になります

第６節ＲＬＩの研修カリキュラム

ＲＬＩの研修カリキュラムは本部にて準備した国際的に統一したものを使用します。又、年１回改正されます。各セッションのディスカッション・リーダーは前もって丸１日かけてオリエンテーション・プログラム(ファシリテーション)の公衆を受けＲＬＩでのリーダーシップの方法について厳しい訓練を受けます。この研修はＲＬＩの本質を表現する極めて重要な研修です。各リーダーは地区のＲＬＩシニア・リーダーや地区ガバナー等によって推薦されます。リーダーを選ぶ場合の選考基準は議論を引き出す能力、即ち参加者の考えや行けを率直に引き出して討論しファシリテーターとして前向きなパワーを引出す力を重視します

第７節ＲＬＩの運営

ＲＬＩ研修セミナーに要する費用は各自参加者負担となっています。各支部は毎年カリキュラムの改訂等や運営上の諸費用のために1支部当たり1１万ドルの年会費をＲＬＩ本部に納入する規定になっています。

第８節ＲＬＩ日本支部の活動経過

日本では２００７年１１月、東京でのロータリー研修会の際、ＲＬＩについて話合いの会が持たれました。この話合いの会合を受けて２００８年4月に黒田正宏ＲＩＤＥ(当時)がアメリカ・ニュージアージー州のＲＬＩ研修セミナーに参加され、具体的な研修の現場を視察しました。帰国後、黒田正宏ＲＩＤＥ(当時)からＲＬＩの研修セミナー参加の具体的な報告を受け、漸く、日本でもＲＬＩ日本支部の機運が生まれ、２００８年６月に設立が決定しました。２５７０地区からは現在、加藤玄静(地区代表委員)、浅田進(ファシリテーター)のご両名が参画されています。

結び　ＲＬＩ(ロータリーリーダーシップ研究会)はロータリーの知識を学ぶだけではなく物事の学び方自体を会得してもらい、参加者の自己啓発を促すとともにモチベーションを高め延いては多方面において、リーダーシップを発揮する繋がることを目的としています。特にＲＬＩ研修後、参加された方々が積極的にクラブ活動に参加され、自発的モチベーションを発揮してクラブを活性化しロータリーの発展に貢献できることを心から期待しています。以上がＲＬＩの説明です。ＲＬＩ委員会はパストガバナー、地区研修委員会、ガバナー補佐、地区各部門の皆様にご協力を頂き年度計画を実行したいと存じます。

研修日程表　場所　嵐山　国立女性教育会館

オリエンテーションプログラム	９月７日(日)
パート１	９月２８日(日)
パート２	１０月１９日(日)
パート３	１１月１６日(日)
卒業セミナー	１１月３０日(日)

【出席報告】吉原孝好会員

会員数４９名	本日出席	３９名
出席免除会員		８名
出席対象会員		３１名
出席率		８６．７％
前々回メーキャップ		３名
前々回修正出席率		８２．２％

【ニコニコＢＯＸ】浅見隆広会員

栗原　平会長

富士見市立東中学校校医として２０年、埼玉県医師会より表彰されました。

桑原福治会員

８月２２日（金）には川越プリンスホテルでの納涼会３４名の参加を頂き、有難うございます

石川　泉会員

吉原さん、ガバナー訪問でお世話になりました

荒城幸夫会員

栗原会長、先日は家族がお世話になりました。

尾崎孝好、柳　裕二会員

早退致します。

斉藤重治、横田正志、松本伸一郎、柳　裕二会員

前回欠席しました。

【第１回会員増強セミナー報告]

開催日：２０１４．６．１４

会員増強委員会

委員長　羽石　隆会員

１．会員数の推移

２０１４．１末　３４地区

２２８８クラブ　８８６３８人

２００９．１末　３４地区

２８１６クラブ　９５４５１人

２．２５７０地区会員数の推移

１０年間では１９，８％の減少

女性は４３，４％の増加

３．女性会員に在籍するクラブの割合

・日本　５％　・中央，東南アジア　４２％

・フイリピン　３１％・インド　１８％

・韓国　１５％

・世界平均　１９％

（２０１３年度版・地域別会員数アジア資料）

４．会員減少の原因

①健康上の問題　高齢化、病気、死亡

②家庭的な問題　家族の介護、家庭の事情

③社会的な問題

経営環境の悪化

退職…定年退職やその他の理由

④経済的な問題

会費その他の経費が負担…金が掛かりすぎる

⑤ロータリーそれ自体の問題

・フエローシップの欠如

…会員同士の親睦の欠如。会員間の派閥

・クラブ例会の魅力の低下

…ロータリーに魅力を感じない

・奉仕プロジェクトに興味を感じない

・ロータリーに対する考え方の不足

…ロータリー情報が不徹底

５．本日はグループごとで又、年代別で討論して頂きたいと思います。

結果でリストを作らせて頂きます。

【点鐘】会長　栗原　平会員

例会日　毎週金曜日
時　間　12:30～13:30
事務所　〒354－0022
富士見市山室2－10－10　島田ビル201号
電　話　049－251－6596　FAX049－252－3848
例会場　島田ビル1F
Eメール　fujimi-rc@nifty.ocm

会報･IT委員会
委員長　萩原喜八郎　副委員長　長根章浩
委員　森田仁一　平岡直也　尾崎孝好
松本伸一郎　柳　裕二
吉原孝好　浅見隆広